

京都府認知症応援大使 令和6年度委嘱者一覧

※年齢・居住地・略歴は令和6年12月7日時点
(再任者・新任者別、五十音順)

	氏名	性別	年齢	居住地	略歴
1	下坂 厚氏 (再任)	男性	51歳	京都市	<ul style="list-style-type: none"> ・46歳の時、認知症の診断を受ける。 ・今の自分だからできることとして、認知症の自分から見えている社会を写真に収め、SNSを活用し社会へ発信。全国各地で写真展や講演会を積極的に行っている。 ・ピアサポート活動として、認知症の診断を受けた本人や家族の相談を受けたり、本人ミーティングの運営に携わったりしている。
2	鈴木 貴美江氏 (再任)	女性	85歳	京都市	<ul style="list-style-type: none"> ・75歳の時、認知症の診断を受ける。 ・認知症カフェでのお手伝いや認知症サポーター養成講座での発信を行っている。また、京都市左京区岩倉地域(チームFCいわくら)での農作業・ものづくりなどにも参加。 ・住まいの市原野会館で「みんなの居場所-ばあ lab」を開催。 ・令和6年1月 全国認知症本人大使「希望大使」に任命される。
3	樋口 聖典氏 (再任)	男性	61歳	京都市	<ul style="list-style-type: none"> ・58歳の時、認知症の診断を受ける。 ・元自動車部品メーカーに勤務。 ・京都認知症総合センターにて、ものづくりの場「作業工房ほうおう」に参加。 ・令和6年6月から NPO 法人ワンハートに勤務。
4	幸 陶一氏 (再任)	男性	80歳	京都市	<ul style="list-style-type: none"> ・73歳の時、軽度認知障害(MCI)の診断を受ける。 ・79歳の時、認知症の診断を受ける。 ・元設計士で、京都市内の大規模住宅地開発にも参画。 ・現在は、地域包括支援センター主催の「男の居場所」に定期的に参加。また、地域包括支援センターで作成した認知症啓発DVDに出演し、自らの想いを発信。 ・ハーモニカが得意で、デイサービスなどで演奏。 ・元気に長生きするためには散歩することが大事と思っている。

5	うのだ さちこ 宇野田 祥子氏 (新任)	女性	84 歳	京都市	<ul style="list-style-type: none"> ・75 歳の時、認知症の診断を受ける。 ・定年まで大阪市の外郭団体で区画整理に係る事務職を務める。 ・チームオレンジ「宇野田サロン」として活動するほか、京都市の認知症フォーラム等のイベントで思いを発信している。 ・京都市だけでなく、府内の他の市町村や府外の人ともつながりを持ち、活動したい。
6	かわた まさひろ 河田 正裕氏 (新任)	男性	62 歳	宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・59 歳の時、軽度認知障害 (MCI) の診断を受ける。 ・61 歳の時、認知症の診断を受ける。 ・認知症関連の講演会や医療・介護人材の養成研修の講師、京都府若年性認知症ピアサポーターとして活動。 ・京都認知症総合センターにて、ものづくりの場「作業工房ほうおう」やフレイル予防教室に参加。 ・令和 6 年 10 月から京都認知症総合センターにて非常勤職員として勤務。
7	ふじた けいじ 藤田 佳児氏 (新任)	男性	65 歳	宇治市	<ul style="list-style-type: none"> ・60 歳の時、認知症の診断を受ける。 ・京都認知症総合センターにて、ものづくりの場「作業工房ほうおう」を立上げ、活動。 ・京都府若年性認知症ピアサポーターとして活動するほか、認知症関連の講演や取材対応にて発信。
8	よしだ あきひさ 吉田 哲久氏 (新任)	男性	64 歳	京都市	<ul style="list-style-type: none"> ・61 歳の時、認知症の診断を受ける。 ・京都認知症総合センターにて非常勤職員として勤務。 ・認知症関連の研修やイベントでの講師、京都府若年性認知症ピアサポーターとして活動。京都市若年性認知症ガイドブックの編集に参加。
9	氏名非公表 (新任)	男性	65 歳	長岡京市	<ul style="list-style-type: none"> ・61 歳の時、軽度認知障害 (MCI) の診断を受ける。 ・診断後も支援を受けながら定年まで就労を継続 (令和 6 年 3 月退職)。 ・退職後は、当事者交流会への参加はもとより、各研修会や公開講座に出講するなど様々な活動に参加。